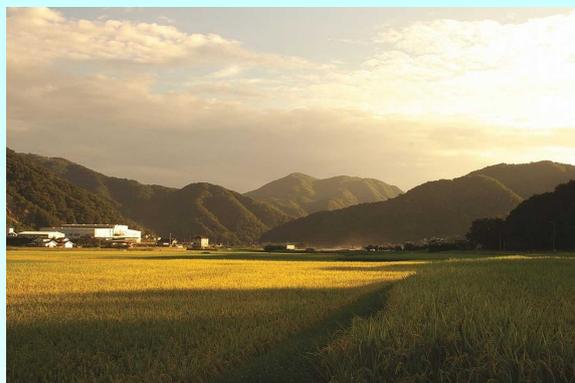


第2次 竹原市環境基本計画



海、川、山、空、あでやかに、竹原市。

令和3年11月

竹原市

は じ め に

竹原市は、風光明媚で豊かな瀬戸内海の美しい海と緑にあふれる山々に抱かれ、古い町並みなど歴史的資源に恵まれ、安芸の小京都と呼ばれるまちとして個性ある文化を創り出してきました。

本市では、平成22年3月に第1次計画となる竹原市環境基本計画を策定し、市民・事業者・行政が協働して環境保全に取り組んでまいりました。

しかし、計画策定後の10年間で、我々をとりまく環境はめまぐるしく変化しており、記録的な猛暑や集中豪雨等の異常気象、大地震等の自然災害、地球規模での温暖化問題など多岐にわたる環境問題が発生しています。

平成30年7月豪雨災害では、本市においても市内各所で土砂災害や河川の氾濫など甚大な被害が発生しています。

地球温暖化の影響が身近になっており、地球規模での取組が必要とされる中で竹原市として果たすべき責務は何かを考えることが必要とされています。

こうした中、第1次計画の期間が終了することに伴い、これまでの取り組みへの評価や市民等の意識・行動の現状から見えてきた課題の抽出、現計画の検証により問題点や課題を整理、また、新たな環境問題へ対応し、持続可能な社会の実現を目指す指針として「第2次竹原市環境基本計画」を策定しました。

本計画では、本市の目指す環境像を『海、川、山、空、あでやかに、竹原市。』と定め、この実現に向けて、市民の皆様と行政がより一層強いパートナーシップを築きながら、協働して取り組んでまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定に当たりまして、多大なご尽力を賜りました、竹原市環境審議会委員の皆様をはじめ、アンケート調査など貴重なご意見をいただきました市民の皆様に心から感謝申し上げます。

令和3年11月

竹原市長 今 榮 敏 彦



目 次

第1章 竹原市環境基本計画の基本的事項

第1節	環境基本計画策定の背景と計画の役割	3
第2節	環境基本計画の位置づけ	4
第3節	環境基本計画の期間	5
第4節	環境基本計画の主体と役割	5
第5節	環境基本計画で対象とする環境要素	5

第2章 目指す環境像と将来像, 基本目標

第1節	目指す環境像	6
第2節	将来像と基本目標・SDGsへの貢献	7
第3節	計画の体系	12

第3章 環境施策の展開

将来像1	【生活環境】きれいな水・土・大気と生きるまち	14
将来像2	【自然環境】海・山・川, 豊かな自然とふれあえるまち	16
将来像3	【快適環境】誰もが生きやすく, 住みよいまち	18
将来像4	【地球環境】地球環境を思いやるまち	20

第4章 計画の推進と進行管理

第1節	市民協働と多様な主体との連携	22
第2節	計画の進行管理	23
第3節	進行管理のための指標と目標値等	24

資料編

資料1	竹原市の概要	26
資料2	自然的状況	27
資料3	社会的状況	28
資料4	大気質	35
資料5	水質	40
資料6	騒音	45
資料7	土壌	46
資料8	ごみと資源化	46

資料 9	自然環境	48
資料 10	地球環境	51
資料 11	環境に係るアンケート調査	52
資料 12	アンケート結果から見える環境の課題	55
資料 13	第1次計画の評価	59
資料 14	計画策定体制と策定経過等	61
資料 15	竹原市環境基本計画パブリックコメントの結果	65
資料 16	竹原市環境基本条例	66
資料 17	環境基準	72
資料 18	環境用語の説明	80